

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	リハ・リハキッズPowers板宿(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに寄り添う丁寧な関わり 保護者の皆さまから「安心して通わせられる」「スタッフが温かい」との声を多くいただきました。	「できた」を逃さない声かけ 小さな成長や頑張りを見つけ、すぐに言葉で伝えるよう心がけています。	成長の「見える化」 子どもたちの頑張りや成長を、写真やコメントで定期的に共有するなど、成果をより実感できる工夫を進めます。
2	活動プログラムの充実 発達段階に応じた活動内容が充実しており、「楽しそうに通っている」「できることが増えた」といった評価が見られ	保護者との丁寧なコミュニケーション ・送迎時や連絡帳などを通じて、家庭との情報共有を大切にしています。	感情や対人面を育むプログラムの充実 感情理解や表現、社会的スキルを育むプログラムを体系的に取り入れています。
3		地域との関わりを重視した活動 公園や商店街など地域での活動を積極的に取り入れ、社会性やコミュニケーション力を育む支援を行っています。	保護者向けの勉強会や個別面談の充実 ご家庭での関わり方や支援方針を共有し、より一貫した支援を行うための機会を設けてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の発信不足 日々の支援内容や子どもの変化が十分に伝わりにくいというご意見をいただきました。	支援の個別化が進む一方で、全体方針の整理が課題 個々への対応が中心となり、全体での方向性をまとめる場が不足している傾向があります。	支援計画や週報のフォーマット統一 支援内容や目標を職員全体で共有しやすくするため、記録・計画書の様式を見直します。
2	職員間の経験差への配慮 職員の経験や得意分野に差があるため、育成・共有の仕組みを整えていく必要があります。	記録や共有が口頭中心になりがち 時間的制約もあり、記録の形式化や共有方法の見直しが必要です。	活動や成果の発信強化 写真付きの掲示やお便り・SNSなどを活用し、保護者の方々に日々の活動をよりわかりやすくお伝えしていきます。
3	活動環境のスペース面での制約	備品・環境整備への時間的負担	

事業所名	リハ・リハキッズ Powers板宿（児童発達支援）
------	---------------------------

公表日 2025年 12月 22日

回収数 3

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1				
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	3					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1				
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	リハ・リハキッズ Powers板宿（児童発達支援）
------	---------------------------

公表日 2025年 12月 22日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		寝たきりの利用児が多い時は、スペースが狭い
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		児発だけの時間は適切だが、送迎が入ってスタッフが減ると足りない 兼務スタッフがあり、適切でない時がある 職員が1人だけの時がある
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4		動線、視覚情報などが混在してしまっている面も多い トイレが狭い 手すりの高さが合っていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4		おもちゃが別室にある カビが発生しやすい
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	別室にはなるが確保は可能	マットの隙間、凸凹がある
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	4		スタッフ全員で参画できていない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	お便りで発信している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		・上司による。話す機会は設けられている。 ・スタッフMTGを定期的にした方がいい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		不明
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的に実施されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		スタッフ全員共通理解できていない
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	計画書がバインダーに挟まれているため、隨時見る事ができる	毎度計画に沿った支援が出来ていない利用児もある スタッフ全員共通理解できていない
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	4		フォーマルなツールは用いられていない
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	ガイドラインを参考に計画作成できている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	1つのチームとして動けている	計画は立てているが、実際行えていない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3	月案、週案、日案と立案されている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		

	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4		打合せの時間があまりとれていない
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		支援しつばなしで振り返っていない事がある
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	主として児発管が参加している	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		共有は図ろうとしているが、回数的に少ない
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				機会がない
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		
保護者への説明等	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	1	5		
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		機会としてはあるが、回数が少ない
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		・頻度が少ない ・保護者の方が参加しやすいような保護者会を考えた方がよい ・機会は設けられているが、準備が不十分(アンウンスが遅いなど)
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		

41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	お便りやLINEで共有できている。	地域の行事に参加する事もあるが、同年代の児童と交流はしていない
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		地域との交流の場がない
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		策定はされているが、訓練としては十分とは言えない 実施しているが、高学年の利用児がいる時に実施が必要
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		分かりやすいように一覧にしてもいいと思う 実施しているが、高学年の利用児がいる時に実施が必要
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	50 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	面談時に伝えている	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		書く事が以前より少なくなっているため、意識して書かないといけない
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	リハ・リハキッズPowers板宿（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに寄り添う丁寧な関わり 保護者の皆さまから「安心して通わせられる」「スタッフが温かい」との声を多くいただきました。	「できた」を逃さない声かけ 小さな成長や頑張りを見つけ、すぐに言葉で伝えるよう心がけています。	成長の「見える化」 子どもたちの頑張りや成長を、写真やコメントで定期的に共有するなど、成果をより実感できる工夫を進めます。
2	活動プログラムの充実 発達段階に応じた活動内容が充実しており、「楽しそうに通っている」「できることが増えた」といった評価が見られ	保護者との丁寧なコミュニケーション ・送迎時や連絡帳などを通じて、家庭との情報共有を大切にしています。	感情や対人面を育むプログラムの充実 感情理解や表現、社会的スキルを育むプログラムを体系的に取り入れています。
3		地域との関わりを重視した活動 公園や商店街など地域での活動を積極的に取り入れ、社会性やコミュニケーション力を育む支援を行っています。	保護者向けの勉強会や個別面談の充実 ご家庭での関わり方や支援方針を共有し、より一貫した支援を行うための機会を設けてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の発信不足 日々の支援内容や子どもの変化が十分に伝わりにくいというご意見をいただきました。	支援の個別化が進む一方で、全体方針の整理が課題 個々への対応が中心となり、全体での方向性をまとめる場が不足している傾向があります。	支援計画や週案のフォーマット統一 支援内容や目標を職員全体で共有しやすくするため、記録・計画書の様式を見直します。
2	職員間の経験差への配慮 職員の経験や得意分野に差があるため、育成・共有の仕組みを整えていく必要があります。	記録や共有が口頭中心になりがち 時間的制約もあり、記録の形式化や共有方法の見直しが必要です。	活動や成果の発信強化 写真付きの掲示やお便り・SNSなどを活用し、保護者の方々に日々の活動をよりわかりやすくお伝えしていきます。
3	活動環境のスペース面での制約	備品・環境整備への時間的負担	

事業所名	リハ・リハキッズ Powers板宿（放課後等デイサービス）
------	-------------------------------

公表日 2025年 12月 22日

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3	1		仕切りはあるが音漏れがある	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6		4	8	全員の子どもに必要か分からない	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17		1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14		1	3		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	2	4		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		1	マニュアルがあると聞いているが、詳しく見たことがない	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			時々嫌がることもあるがほぼ楽しみに通っている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				とても満足している	

事業所名	リハ・リハキッズ Powers板宿（放課後等デイサービス）
------	-------------------------------

公表日 2025年 12月 22日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	7			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	5			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	別室にはなるが確保は可能	マットの隙間、凸凹がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	お便りで発信している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	定期的に実施されている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	計画書がバインダーに挟まれているため、隨時見れる事ができる	毎度計画に沿った支援が出来ていない利用児もある スタッフ全員共通理解できていない	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインを参考に計画作成できている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	1つのチームとして動けている	計画は立てているが、実際行えていない	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	3	月案、週案、日案と立案されている		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	4			

	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5		支援後に振り返っていない事がある
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	2	主として児発管が参加している	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		共有は図ろうとしているが、回数的に少ない
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	5		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		・頻度が少ない ・保護者の方が参加しやすいような保護者会を考えた方がよい ・機会は設けられているが、準備が不十分（アナウンスが遅いなど）
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	お便りやLINEで共有できている。	地域の行事に参加する事もあるが、同年代の児童と交流はしていない
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		地域との交流の場がない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		策定はされているが、訓練としては十分とは言えない 実施しているが、高学年の利用児がいる時に実施が必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1		分かりやすいように一覧にしてもいいと思う 実施しているが、高学年の利用児がいる時に実施が必要
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	面談時に伝えている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		書く事が以前より少なくなっているため、意識して書かないといけない
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	リハ・リハキッズPowers板宿 Friends（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日	～	2025年 10月 10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日	～	2025年 10月 10日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 10月 1日	～	2025年 10月 10日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員が一人ひとりのお子さまに丁寧に関わり、わかりやすく説明する姿勢が高く評価していただいている。 お子さまの特性やその日の様子をしっかり見取り、状況に応じて支援内容を柔軟に調整できる点が特徴です。	お子さまの「できた」「わかった」を引き出すために、教材や活動内容をその子に合わせて工夫しています。 特定の方法にこだわらず、日々の小さな変化に合わせて最適な支援を模索しています。	職員全員が支援の内容について意見を出し合い、より良い方法を考える機会を増やしていきます。 実際の場面でうまくいった工夫や課題を共有し、チーム全体の支援力向上につなげます。
2	学校や関係機関との連携が良好で、支援目標や教材を先生方と相談しながら決定しています。 教育現場と療育の両面から支援を考えられるため、自然に学校生活へつながる支援が実現できています。	学校やご家庭など関係者との連携を大切にし、お子さまを取り巻く環境全体を支えることを意識しています。 先生や保護者の方と情報を共有しながら、一貫した支援ができるよう努めています。	支援の考え方や取り組みを整理し、誰が担当しても同じ方向性で関わるようになります。 そのために、マニュアルだけでなく「支援の考え方」も共通理解として持てるよう整備します。
3	保護者の皆さまとの信頼関係が築かれており、安心してご相談いただける環境が整っています。 ご家庭での様子やお子さまの成長と一緒に喜び合う関係を大切にしています。	支援中の声かけや関わり方にも気を配り、お子さまが安心して過ごせるような雰囲気づくりを心がけています。 「楽しく学ぶ・自信をもって取り組む」ことを支援の軸としています。	お子さまの成長を見る形で共有し、保護者の皆さまと一緒に喜べるような取り組みを増やしていきます。 具体的な変化や成果を言葉や写真などで振り返る仕組みを検討しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の振り返りや改善の話し合いに、まだ一部の職員しか十分に参加できていない点があります。 現場業務が忙しい中で、全員が共通の時間を取ることが難しいことが課題となっています。	現場での支援業務が多く、職員一人ひとりが改善活動や話し合いに十分な時間を持っていません。 そのため、良い取り組みがあっても共有されにくく、個人の中で完結してしまうことがあります。	定期的に職員全員が集まり、支援内容の振り返りや意見交換を行う場を設けます。 支援で感じた課題や工夫を共有し、全員で改善策を考える習慣をつくっていきます。
2	個々の強みを活かしながらも、全体の統一感を高めることが今後の課題です。	支援員の経験や工夫が個人的になっており、共通化・蓄積が進んでいません。 組織全体の力として発揮するには、情報の共有や整理の仕組みが必要です。	支援の方法や成功事例をまとめ、チーム全体で共有できる資料や記録を整えていきます。 それにより、経験の少ない職員も安心して同じ質の支援を提供できるようにします。
3	日々の支援が中心となるため、中長期的な計画や改善活動に時間を確保しにくい状況があります。 支援の「今」だけでなく「これから」を考える時間づくりが必要だと考えています。	支援の成果や取り組みを、外部や保護者の方に分かりやすく伝える工夫が十分ではありません。 努力や改善が「伝わる形」になっていないことが課題と考えています。	保護者の皆さまにお子さまの成長をより分かりやすくお伝えし、家庭と事業所が一緒に喜べる機会を増やします。 家庭と連携した取り組みを広げることで、お子さまの成長をより深く支えていきたいと考えています。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名	リハ・リハキッズ Powers板宿 Friends (保育所等訪問支援)	公表日	2025年 12月 22日	
		利用児童数	5	回収数
				1
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	どちらともいえない	いいえ
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。			1
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1		
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。			1
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思いますか。	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1		

	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1				とても丁寧でありがたいです	
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようしていると思いますか。	1					
満足度	26 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28 事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名

公表日 2025年 12月 22日

リハ・リハキッズ Powers板宿 Friends（保育所等訪問支援）

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3				
5	事業所からの支援に満足していますか。	3				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
毎回子供たちの様子、支援について学校で出来ることをお話してくださり次への意欲へと繋がっています。 細かな連携、そして私たちが困っていることの支援方法等とても分かりやすく教えてくださっています。 密に連携をとってくださり本当に感謝しています。学校だけでなく放デイ、家庭と色々な方面からサポートすることの大切さを実感しています。訪問支援を利用させていただきとても良かったと感じます。				今後も訪問先の先生方と協力しながら良い支援を行えるように努めてまいります。		

事業所名		事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）				公表日 2025年 12月 22日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境制整運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0	実施内容に沿って学校内で教材などは先生と相談してチョイスできている	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0	2		結果の伝達はあっても目標設定などについては広く参画しているとはいえない
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	実施はされている	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	実施はされている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		不明
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	定期的な機会は設定されている	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	放デイとも連携を行い、単一事業としてではなく、一連のものとして考えている	
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	1		十分に計画が周知しているとは言いにくい
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	2		インフォーマルな確認式であるもフォーマルなアセスメントは行えていない
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	2		定期的な支援員が1名であり、役割分担については難しい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	2		定期的な支援員が1名であり、役割分担については難しい
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0		記録の遅れ、共有方法については不十分な面あり
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0			

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	2		連携には学校・SSWと実施されているが、他は不十分
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1		
	23	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	2		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	報告書の形式にて実施	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	契約の際に実施	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	開始前及び実施中にも説明を行っている	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2		
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	1		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	1		課題は大きい
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	報告書の形式にて実施	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	専門的で難しくなりすぎないようバランスを取りながら実施	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	定期的に実施	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	定期的に実施	